



令和2年度学校給食優良表彰 ～食育の取り組み～

このたび県教育委員会により「神奈川県学校給食優良学校」として表彰を受けました。今年度の給食は6月から段階的に始めましたが、リクエスト給食、農園芸班が納品した野菜を使った献立など食育計画に沿って実施されています。また休校中には食育関連の動画や記事を配信してきました。例年実施している給食試食会に代えて、今年度は在校児童生徒および保護者に向けた動画配信も行っています。

食育に関する指導計画では分教室生徒の授業も実施しており、栄養バランスや食生活を学び将来に向けた健康づくりのベースとなる学習を行っています。また初期食などの配慮食については摂食指導と絡めて職員研修を実施するなどして専門性の向上を図っております。

新型コロナウイルス感染拡大防止においては、いつも以上に徹底した対策を講じながら全校教職員一丸となって取り組んでいます。引き続き安心安全な給食の実施とともに、食育の推進に取り組んでいきたいと思っています。



耐震化工事の開始

第一棟の耐震化工事に向けて8月に仮設校舎と第二棟への引越しを終了し、10月から本格的な校舎工事が始まりました。工事の期間中はご不便をおかけいたしますが、あらためてご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校運営協議会がスタートしました

今年度より、神奈川県では県立特別支援学校すべてに学校運営協議会制度が導入されました。学校運営協議会は「コミュニティ・スクール」とも呼ばれ、学校と保護者や地域の方々が連携・協働して子どもたちを支える学校づくりをすすめていくというものです。(詳しくは県HPをご覧ください。)

第1回は5月(書面開催)、第2回を10月26日に開催いたしました。委員の皆さまとともに充実した話ができ、文部科学省のパンフレットにある「コミスクは学校の応援団」という言葉の意味を実感する機会となりました。

新しい学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。育てたい児童生徒像を共有するために、今やっていることを発信したり、児童生徒につけ

たい力を共有したりする「熟議」の中から様々なアイデアや気づきが生まれ連携が深まることを嬉しく思っています。

三ツ境養護学校はこれまで50年にわたる歴史の中で育まれてきた地域とのつながりが多くあり、その中で積み上げてきた実績が今につながっています。さらに未来に向かって社会と連携・協働した教育活動を充実させ、子どもたちの成長を育み、共生社会の実現に向け学校が地域に貢献できる、学校がそこにあってよかったという教育活動を実施していきたいと思っています。

